



プレーパークニュース

NO. 10

「大垣公園プレーパーク」を見学しました！

- ◆日時 令和6年9月28日(土) 午前10時30分から午後12時30分まで
- ◆場所 岐阜県大垣市郭町2丁目53 大垣公園内
- ◆参加者 大人5人(みどりの推進課職員)
- ◆行程 8:30 市役所出発
10:30 プレーパーク会場 現地到着
主催者からお話を伺う
11:30 見学開始
12:30 見学終了
公園出発
13:30 市役所着

プレーパークとは、禁止事項をできるだけ少なくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを基本とした子どもの遊び場のこと。



大垣公園プレーパークについてお話ししてくれた人

浅野 純一さん

NPO 法人・緑の風理事長。

緑の風は、自然の素晴らしさ、外遊びの楽しさを子どもたちに指導しているボランティアの集まり。元会社員。大学時代は山岳部に所属していたとのこと。周囲から「優しくて良く動く人」と信頼されている浅野さん。プレーパークの子どもたちからは「アサジー」と、親しみを込めて呼ばれている。同県大垣市昼飯町在住。



浅野さんとのQ&A (抜粋)

Q1 プレーパーク設立のいきさつを教えてください。

A 2010年に大垣市がこの市民公園を大規模整備することになり、大金を使うのだから人を呼ぶためのアイデアはないかと当時文部科学省が主導する自然体験を推進する活動を行っていた浅野氏に相談があり「プレーパーク」か「森のようちえん」が良いのではないかとアドバイスしたところ「プレーパーク」案が採用されて2010年から岐阜県下で最初のプレーパークを開催したとのこと。2011年開設。

Q2 利用者数について教えてください。

(1) 1回あたり平均(※通年開催で、土・日曜日はイベントを実施)

A 20~30人(11時と当時15時に来訪者の概数をカウント。)

(2) 参加者の年間合計数

A 8,400人

※ 参加者は、リピーターが多いが若年化が進み女子の参加比率が高まっている印象とのこと。

山盛りの砂場



Q3 「大垣公園プレーパーク」利用にお金はかかりますか。

A 入場料はとっていませんが、土・日に行っているイベントへの参加には材料代として1回100円をもらっています。材料代は、参加の本気を確認するためです。(当日は「スーパーボール作り」でした。)



噴水



おしめの自動販売機



倉庫

Q4 年間予算について

A 約556万円(公園管理費として) ※ 草刈り・剪定などの公園管理は市が行っています。

Q5 支出に占める内訳(割合)

A 人件費約85%、光熱費約0%、借地料0%、その他(消耗品等)約15%

Q6 このプレーパークの特徴や特に大切にしている事があれば教えてください。

- A1【特徴】** 都市型であり、公園の一部であること。通年開催していること。
イベントには多くの外部講師を招聘してスタッフの学びになっていること。
- A2【大切にしていること】** みんなが笑顔で過ごせる場所にする事。

Q7 設立から現在まで気持ちに変化はありましたか？

A 子どもとその保護者だけでなく、公園なので大人・年配者・高校生・外国人等のいろいろな来園者をターゲットにしていく事の必要性を感じるようになった。

Q8 継続していく原動力は何ですか？

A 自然体験をしてほしいという気持ち。

Q9 特に悩み・困りごとなどはありますか？

A 後継者になる人が見つからないこと。

🌳 浅野純一さんの話を聞いて 🌳

* 浅野氏から親切にまた積極的にお話しをしていただきました。いろいろお話しを伺う中でプレーパークハウス(管理棟兼休憩所)の重要性を改めて認識しました。また、「大切にしていることは」との質問に対して、参加者及びスタッフも含めて「みんなが笑顔で過ごせる場所にする事。」という言葉がとても印象に残りました。



【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾
☎ 0561-64-0045 email kodomojuku@nagakute.aichi.jp